



実りの秋、学びの秋

異常なほどの暑さに見舞われた今年の夏ですが、9月後半から幾分、秋の気配を感じるようになってきました。子供たちは、夏を越えて一回り大きく成長したように感じられます。さて、秋は「実りの秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」・・・と言われます。涼しく過ごしやすいこの時期は、何をするにも適していますが、特に集中力が増し、読書や学習にじっくりと取り組むのに最適です。今回はこの「学問の秋」について考えてみたいと思います。

まず1つめは読書の時間を楽しむです。

本校のチャレンジ目標「さくらっ子ABC」のBは「Beautiful と Book」のBです。子供たちは「1年間で〇〇ページ読む」や「様々な種類の本を読む」といった読書に関する目標を立てています。頑張っているようですがなかなか目標達成とまではいかないようです。秋の夜長、学校でも読書週間などを設け、さまざまな本に触れる機会を増やします。ご家庭でも、テレビやゲームから少し離れ、お子さんと一緒に本を読む時間、読み聞かせをする時間を作ってみてはいかがでしょうか。物語の世界に浸ったり、科学の不思議に触れたりすることで、想像力や表現力が豊かになります。

2つめは基礎学力の定着です。

この時期は、日々の学習の定着を図る良い機会です。10月中旬に5・6年生は県の確認問題(今までの学習の振り返りテスト)があります。特に2学期後半は、学習内容が難しくなってきます。これまでの復習や、家庭学習の習慣を見直すなど、「できる!」を積み重ねるサポートをお願いいたします。

3つめは「なぜ?」を大切にします。

授業中はもちろん、学校生活の様々な場面で「なんでだろう?」「もっと知りたいな」という知的な好奇心を大切にしてほしいです。疑問に思ったことをすぐに調べたり、先生や友達に質問したりする主体的な学びをしてほしいと思います。

学問は、すぐに結果が出るものではありません。しかし、地道な努力と積み重ねが、将来の子供たちの大きな力となります。保護者の皆様におかれましても、お子様が自宅でじっくりと学習に取り組めるよう、家庭での環境づくりや励ましのお声がけにご協力をお願いいたします。学校とご家庭が連携し、子どもたちが「分かった!」「できた!」という喜びをたくさん感じられる「学問の秋」にしていきましょう。

山口県では、家庭の元気応援キャンペーンを展開しています。
10月は「やまぐち家庭教育支援強化月間」です!



「家庭の元気応援キャンペーン」
マスコットキャラクター

「ファミリン」

- ◆ 基本的な生活習慣を身に付けましょう。
- ◆ 家族がふれあう機会をもちましょう。
- ◆ 手伝いを積極的にしましょう。
- ◆ 地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう。

スローガン

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び みんな仲良く今日も元気」



問い合わせ 山口県教育庁地域連携教育推進課 Tel.083-933-4662

「環境整備作業」が行われました。

8月24日（日）、保護者や地域の方のご協力のもと、環境整備作業を行いました。夏の間にすいぶんと繁ってきた草の刈り取りや、屋内のふだん行き届かない所の清掃作業まで、学校中をたいへんきれいにさせていただきました。



「梨の授業」が行われました。

9月4日（木）、長門峡梨組合の岡村さんを講師に迎え、梨についての出前授業を行いました。長門峡梨の歴史や仕事の内容について教えていただきました。子供たちはより一層、梨が大好きになりました。



「PTA活動」が行われました。

9月12日（金）、うらやま工場の山本さんを講師に迎え、PTA活動が行われました。フォトフレームや森のクラフトなどを作りました。作品ができあがると、子供たちは大喜びでした。



「地域の方とのふれあい活動」が行われました。

9月18日（木）、地域の方にご来校いただき、子供たちと一緒に、こま・かるた・だるま落とし等の昔の遊びを楽しみました。互いに充実した時間を過ごすことができました。



「あとう夢語太鼓」の練習がんばっています

5・6年生が、11月の「さくらっ子」発表会にむけて「あとう夢語太鼓」の練習をはじめました。自分たちで目標を決め、素晴らしい発表になるように、仲間で気持ちを一つにして、太鼓の練習に励んでいます。

